

—目次—

トピックス

1. 「障害のある人の労働・雇用国際セミナー」を開催！しました。
2. ふわりんくるーじょん 2014 に参加して

インフォメーション

1. 国連障害者の権利条約批准国情報

イベント情報

1. 2014(平成26)年度 JANNET 総会ほか開催のご案内

トピック 1

「障害のある人の労働・雇用国際セミナー」を開催！しました。

佐藤 ふき
ワーカビリティ・アジア(WAsia)事務局・きょうされん事務局



セミナーの様

ワーカビリティ・インターナショナル(WI)は、障害のある人に労働・雇用サービスを提供する世界最大の事業者団体です。日本の4団体(全国社会就労センター協議会(SELP)、きょうされん、日本セルフセンター、ゼンコロ)は、WIに加盟し、国内ではワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン(WIJ)として活動しています。

WI理事会の東京開催を機に理事を講師に招き、4月8日(火)に、参議院議員会館講堂において「障害のある人の労働・雇用国際セミナー 英米豪日のリーダーによる最新動

向」と題する国際セミナーを開催しました。

WIJの藤井克徳代表の開会あいさつに始まり、パトリック・メア WI会長(オーストラリア：全国障害サービス(National Disability Services, NDS) 最高執行責任者)の来賓あいさつ、ジェリー・デイビス WI理事(アメリカ：グッドウィル社(GICT) 社長兼最高経営責任者)の基調報告に続き、以下4名によるパネルディスカッションが行なわれました。(以下、敬称略)

- オーストラリア：ジェイソン・マッケイ (ジョブ・プレイスメント マネージャー)
- イギリス：ロイ・オショーネシー (ショウトラスト 最高経営責任者)

- アメリカ：リック・セバスチャン（ヒューマン・テクノロジー・コーポレーション（HTC）
会長兼最高経営責任者）
- 日本：斎藤なを子（きょうされん 副理事長）

海外の講師からはそれぞれ、厳しい国家予算削減の中で、障害のある人の雇用を守るとりくみやその意義を中心に、最新の関連動向が報告されました。日本からは、障害者雇用やいわゆる福祉的就労の現状と問題点が語られました。

会場には200名を超える参加者が詰めかけ、オーストラリアで試行中の国家障害保険制度や、イギリスのレンプロイの解体についてなどたくさんの質問が出されました。4時間のセミナーであったにも関わらず時間が足りないという感想が寄せられるなど、参加者の関心の高さがうかがえるセミナーとなりました。



パネリストのWI理事4名

トピック 2

ふわりんくる一じょん 2014 に参加して

上野 悦子

3月22日、23日に、東京でふわりんくる一じょん 2014 という、講演と分科交流会を組み合わせた会が開かれました。共催したのは、日本地域共生協議会(JCCI)、NPO ふわり、社会福祉法人むそう(愛知県半田市)です。3年前からふわりんくる一じょんでは CBR をプログラムに取り入れており、筆者が CBR/CBID の話を頼まれてきました。国内で地域に展開する福祉事業を実施してきた経緯から、北欧型の高負担高福祉ではなく、CBR(CBID)にたどり着いた人たちがここにはいます。

1日目の講演は、厚生労働省生活困窮者自立支援室長の熊木正人さんで「社会的包摂の主人公は地域のみなさんです！」と題して、昨年12月に制定された生活困窮者自立支援法などについてお話しくださいました。セッション①では、熊木さんを交えて、「地域に根差したその人の価値を最大化する取り組み」というテーマで、沖縄池間島で福祉支援センターの前泊博美さんの活動報告をもとに、琉球大学教授の高嶺 豊さんが CBR マトリックスで解説を行いました。次に岩手県田野畑村にあるハックの家の竹下敦子さんの報告を受けて、筆者が CBR の視点で分析を試みました。

池間と田野畑での実践は聞いていてわくわくする内容で、CBID の理念も方法も詰まっており、ツイントラックアプローチ(障害と開発で言われている、個人支援と周囲が変わるための活動)はごくあたりまえに存在していると思いました。事例から学ぶことは多くあることを実感しました。

また別の講演では、「すべての子どもの命が輝く日本に！」と題して、野田聖子自民党政調会長が、医療ケアを必要とするお子さんの母親として思いを語りました。続くシンポジウムでは野田聖子さんを交えて、「医療依存度の高い子どもから子育て支援を考える」が開かれ、訪問医療ステーションそらの梶原厚子さん等第一線で活躍する方のお話がありました。

全体で主催者が意図したことは、誰でも、地域であたりまえに暮らすこととそのために実践がすすんでいる連携した支援の取り組みを共有したいということではないかと思われまます。日本国内の活動ですが、CBID の考え方と高い親和性が感じられました。

セッション①で意気統合した、前泊さんと竹下さんの後日談ですが、池間の職員がハックの家を訪れ、田野畑のくるみと沖縄の黒糖のコラボの話が進んでいるそうです。

インフォメーション

1. 国連障害者の権利条約批准国情報

(関連サイト: <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/right.html>)

新たに標記批准国となった国と地域は以下の通りです。

144. パレスチナ 145. スイス

計:145 の国と地域 (2014 年 4 月 25 日現在)

➤ 国連批准国リスト(英語): <http://www.un.org/disabilities/countries.asp?navid=12&pid=166>

イベント情報

1. 2014(平成 26)年度 JANNET 総会ほか開催のお知らせ

2014(平成 26)年度 JANNET 総会を下記の日時、会場にておこないます。総会に引き続き、第 3 回アジア太平洋 CBR 会議実行委員会を開催いたします。この会には実行委員以外の方のご参加も可能です。

日時:5 月 31 日(土) 11:00~12:00 【役員会】
13:30~15:30 【総会】
15:30~17:00 【実行委員会】

会場:JICA 地球ひろば(市ヶ谷) 国際会議場
<http://www.jica.go.jp/hiroba/about/map.html>

総会、実行委員会の詳しいご案内、参加申込書・総会委任状は後日、会員 ML にてお送りいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

JANNET 事務局では、会員の皆様よりメールマガジンに掲載する国際活動に関する情報を募集しております。団体会員様のイベント情報などありましたら事務局までご連絡ください。

JANNET 障害分野 NGO 連絡会

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会内
【JANNET 事務局直通】 TEL:03-5292-7628 FAX:03-5292-7630
URL: <http://www.normanet.ne.jp/~jannet/>